

兵庫県 の 地震 活動

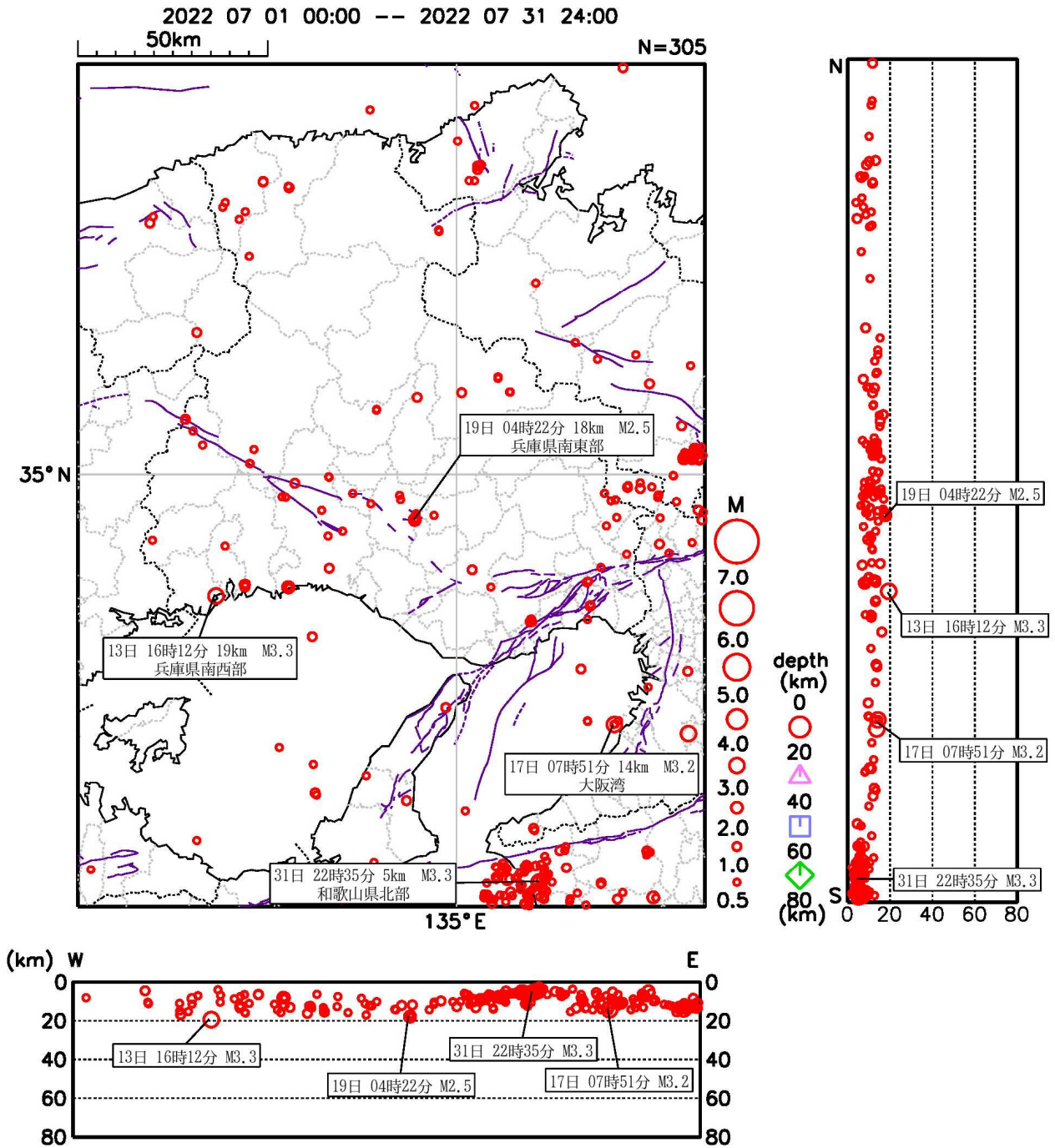
2022 年（令和 4 年） 7 月

震央分布図・断面図	1
概況	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震一覧表	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図	3
一口メモ	
防災の日に、もしもの備えと対策を！	5

- * 「兵庫県の地震活動」は月 1 回発行し、兵庫県内の地震活動状況をお知らせするとともに、社会的に関心の高い地震について適宜解説を行います。また、「一口メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。
- * この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- * また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

神戸地方気象台

震央分布図・断面図



左上：震央分布図 右上：東から見た断面図 左下：南から見た断面図
注) 分布図の紫線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

概 況

―― 7月の概況――

今期間、兵庫県内では震度1以上の地震を4回観測しました。

13日16時12分 兵庫県南西部の地震（深さ19km、M3.3）により、姫路市、たつの市、市川町で震度1を観測しました。

17日07時51分 大阪湾の地震（深さ14km、M3.2）により、神戸市で震度1を観測しました。

19日04時22分 兵庫県南東部の地震（深さ18km、M2.5）により、多可町で震度1を観測しました。

31日22時35分 和歌山県北部の地震（深さ5km、M3.3）により、洲本市で震度1を観測しました。

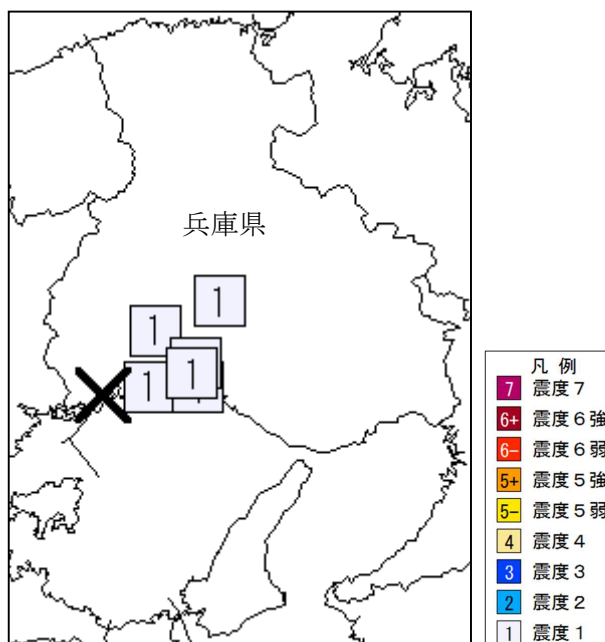
兵庫県で震度1以上を観測した地震一覧表

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード	全国最大震度
各地の震度（兵庫県内）						
7月13日 16時12分	兵庫県南西部	34° 45.7'	134° 25.9'	19km	M3.3	震度1
震度1：姫路市安田*、姫路市本町*、姫路市白浜*、姫路市林田*、市川町西川辺*、たつの市御津町*						
7月17日 07時51分	大阪湾	34° 30.6'	135° 22.3'	14km	M3.2	震度2
震度1：神戸兵庫区上沢通*						
7月19日 04時22分	兵庫県南東部	34° 54.6'	134° 54.0'	18km	M2.5	震度1
震度1：多可町八千代区*						
7月31日 22時35分	和歌山県北部	34° 12.0'	135° 11.7'	5km	M3.3	震度2
震度1：洲本市物部						

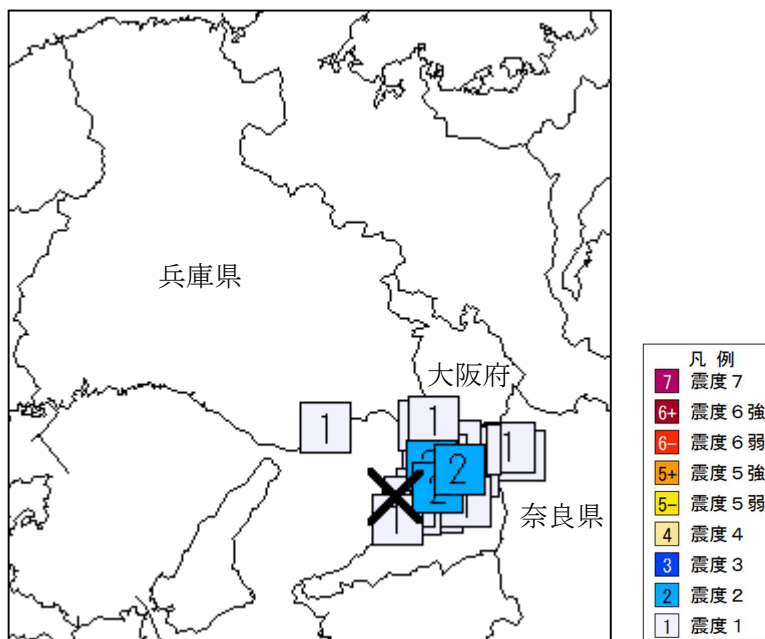
震源要素は、後日修正される場合があります。確定値は「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載されます。なお、*印は気象庁以外の地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図

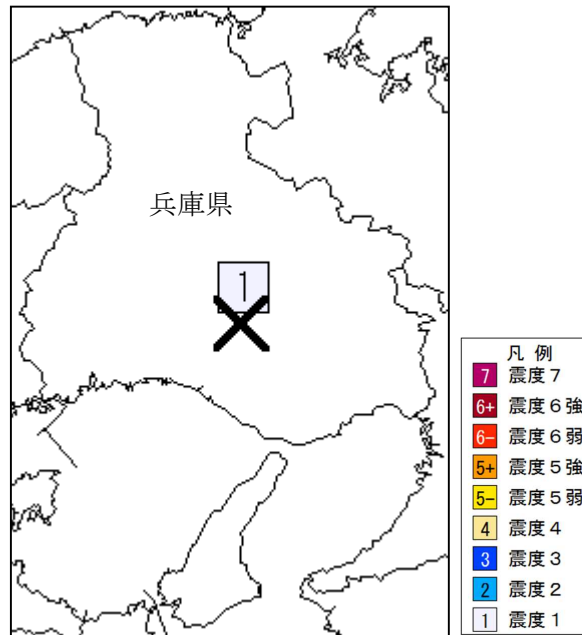
7月13日16時12分に発生した、兵庫県南西部の地震による震度分布図（観測点震度）。×印は震央を表す。



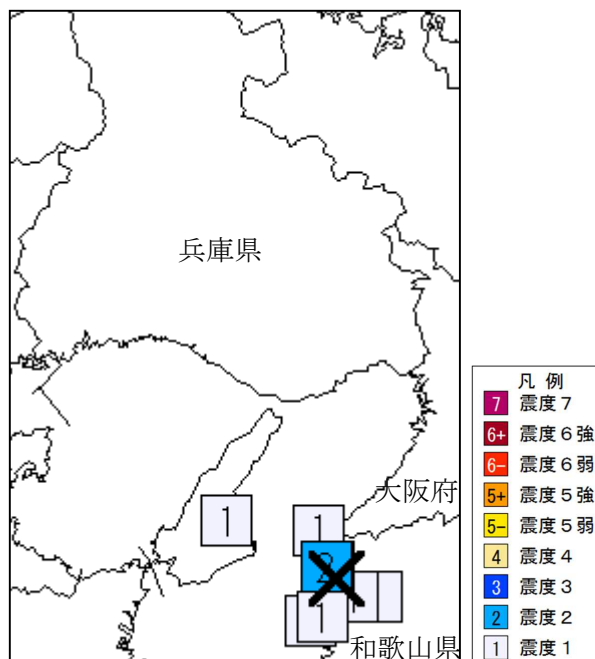
7月17日07時51分に発生した、大阪湾の地震による震度分布図（観測点震度）。×印は震央を表す。



7月19日04時22分に発生した、兵庫県南東部の地震による震度分布図（観測点震度）。×印は震央を表す。



7月31日22時35分に発生した、和歌山県北部の地震による震度分布図（観測点震度）。×印は震央を表す。



一口メモ

防災の日に、もしもの備えと対策を！

9月1日は防災の日です。防災の日は『台風や高潮、津波、地震等の災害について認識を深め、それらの災害について対処する心構えを準備するため』として、制定されました。また、防災の日をはさんで、8月30日から9月5日は防災週間として、防災意識を高める期間となっています。

【地震への備え】

地震や津波などの自然災害は、いつでもどこで起きてもおかしくはありません。突然、想像を超える力で襲ってきます。しかし、日頃から準備を整えておくことで、被害を抑えることはできます。一つひとつの小さな行動が、自分自身を、家族を守ることに繋がります。その第一歩として、訓練に参加したり、自宅や職場の備蓄を確認するなど、できることから防災対策に取り組みましょう。

訓練に参加しよう！

いざという時、慌てずに身を守るためには、その場その時に合わせてどのような行動を取るべきかをあらかじめ考え、行動している自分を想像することが重要です。防災週間にあわせて、訓練を実施する自治体や学校、施設なども多くありますので、訓練に参加し、身を守る行動を身につけましょう。



家の中は安全？

大きな地震が発生したら、家具は倒れるものと考えて、転倒防止対策を講じておく必要があります。

- ・家具が倒れないよう、固定する。
- ・寝室に背の高い家具を置かない。
- ・手の届くところに懐中電灯やスリッパを置く。
- ・ガラスに飛散防止フィルムを貼る。

〔参考〕地震による家具の転倒を防ぐには（総務省消防庁）

<https://www.fdma.go.jp/publication/database/kagu/post1.html>



非常持ち出し品、備蓄品を確認しよう！

ライフラインが一時的に停止したり、食料が手に入りにくくなった場合に備え、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。防災のために特別なものを用意するのではなく、普段食べているものを消費しながらストックする「ローリングストック法」がおすすめです。最低3日分、できれば1週間分くらいの食品を家庭で備蓄しておくことが推奨されています。

〔参考〕食品備蓄のコツとは？（政府広報オンライン）

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202103/2.html>

